

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0088	文化振興一般経費					01	02	01	07	128	01
	事業名	0088	文化振興一般経費	所属	040100	企画財政部企画課 地域政策係	連絡先(記入者) 西村澄子 22 - 9621					
基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む										

概要	事業概要	①上野天神祭のだんじり・鬼行列の運営補助 ②市民管弦楽団の運営補助	事業期間						
			平成	年度 ~ 平成	年度				
根拠法令・要綱等	企画財政部関係補助金等交付要綱		審議会・委員会等						
補助金支出	有	※支出“有”の場合要綱を記入 企画財政部関係補助金等交付要綱				分掌事務番号	4	5	6
対象(誰を、何を)	①上野文化美術保存会(だんじり9町及び鬼4町) ②伊賀コミュニティオーケストラ		※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値	
			団体	2	2	2	2		
成果(どうする)	①上野天神祭りでだんじり・鬼行列の巡行を行うことができ、国の重要無形民俗文化財に指定されている行事を後世に伝承するための負担を軽減できる。②音楽を実践する場や鑑賞する場など、音楽に親しむ機会が増え、音楽文化の振興を図ることができる。								
H24実施内容	①国の重要無形民俗文化財に指定されている上野天神祭の運営等郷土文化の振興、伝承を図るため、上野文化美術保存会に対して運営助成を行った。助成金は、分配金としてだんじり9町及び鬼4町に配分されそれぞれ各自治会で事業運営を行った。 ②市民の音楽文化の振興を目的に、市民管弦楽団の育成を図るため、伊賀コミュニティオーケストラがその窓口となって活動運営を行っている。◎演奏会活動(年3回) ◎月2~4回の練習の実施 ◎弦楽器・管楽器(特にヴィオラ・ファゴット)の団員募集を実施 ◎新しい楽譜を購入								

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明		
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	管弦楽団 練習回数	回	目標	35.0	目標	35.0	35.0	35.0	演奏会等に向けての年間練習回数
			実績	30.0	実績	34.0			
成果指標	演奏会等来場者数	人	目標	650.0	目標	650.0	650.0	650.0	より多くの人が関心を持つことにより音楽文化が向上する
			実績	567.0	実績	420.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費 (補助率)								
	県費 (補助率)								
	地方債								
	その他								
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	だんじり・鬼行列運営補助金	8,370	8,370	8,370	8,370	8,370	8,370	8,370	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	市民管弦楽団運営補助金	300	42	300	300	300	300	300	
	その他事務経費	1,185	590	1,618	1,618	1,618	1,618	1,618	
	小計(B)	9,855	9,002	10,288	10,288	10,288	10,288	10,288	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
		人件費	568	578	578	578	578	578	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.0人	0.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	
		人件費			1,295				
	小計(C)	568	578	1,873	578	578	578	578	
	合計(D=(B+C))	10,423	9,580	12,161	10,866	10,866	10,866	10,866	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	10,423	9,580	12,161	10,866	10,866	10,866	10,866	市民管弦楽団運営補助金は管弦楽団への寄附金を基金に積立て、そこから取り崩して使用 平成25年4月1日現在 残金1,518,647円
	(うち繰越金) ※前年度比	—	△ 844	2,581	△ 1,295	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	①伝統文化の伝承と、だんじり・鬼面等の維持管理に支障をきたす。②特に管弦楽団に指定された寄附金なので助成先がなくなる。	(概ね)順調	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
	委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)
昨年度記載した改善策	①上野文化美術保存会構成自治会の取り組みによるだんじりの曳き手等の確保と、伊賀市としてもボランティアスタッフの人員確保に努める。また、事業計画、決算報告書の様式統一化により、補助金のあり方を協議する。②市民管弦楽団へ平成26年度以降の購入計画を検討してもらう。		左記改善策への取組状況
			【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
現時点における課題及び課題に対する改善策	①緊縮財政の中、補助金のあり方を協議する必要がある。毎年同額の補助内容のためグレードアップする内容等を検討するよう、まつり町と協議が必要である。 ②市民管弦楽団へ残金額を伝え、計画的に備品等の購入を行ってもらう。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤山 善之	現状維持	①国の無形民族文化財に指定の上野天神祭のだんじり・鬼行列の巡行による伝統文化の伝承と、だんじり・鬼の面等の管理のための事業として継続した事業展開を行う必要がある。現状維持としたい。②市民管弦楽団への寄附金により助成されている事業であり、基金残高により年次的に備品を購入し、事業を推進する。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0089	美術展覧会運営経費					01	02	01	07	128	51
	事業名	0089	美術展覧会運営経費	所属	040100	企画財政部企画課 地域政策係	連絡先(記入者) 西村澄子 22 - 9621					
基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む										

概要	事業概要	市民から作品を公募し、入賞・入選した作品及び無鑑査の作品を展示する美術展覧会を開催する。						事業期間								
								平成	17	年度	～	平成	年度			
	根拠法令・要綱等	伊賀市民美術展覧会運営委員会条例、伊賀市民美術展覧会審査員要綱				審議会・委員会等	伊賀市民美術展覧会運営委員会									
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	5	6					
	対象(誰を、何を)	絵画・写真・書道・彫塑工芸各部門(造形芸術)活動に取り組む人				※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値
成果(どうする)	美術への関心を高め、芸術文化の創造に積極的に取り組むため、作品を発表する場と優れた作品を鑑賞する機会を提供する。															
H24実施内容	造形芸術等の有識者により運営委員会を組織し、年度内に2回運営委員会を開催、事業計画等を協議 絵画・彫塑工芸・写真・書道の各部門の作品を募集 運営委員から推薦された審査委員による公開審査を実施 入賞・入選した作品、審査員・運営委員の作品、無鑑査の作品を展示 入賞者を対象に表彰式を開催															

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
			目標	実績	目標	実績			
活動指標	運営委員会	回	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	事業計画、展示方法等を協議	
成果指標	出品者数	人	180.0	169.0	180.0	180.0	180.0	造形芸術活動に取り組む人を増やす	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	伊賀市民美術展覧会運営委員報酬	90	96	96	96	96	96	96	96	平成25年度はみえ県展「伊賀移動展」に係る警備業務委託料及び展示用備品借上料も積算。さらに、会場設営等委託料にパネル修繕(表面塗装)を含む。
	伊賀市民美術展覧会審査員報酬	102	102	102	102	102	102	102	102	
	賞品及び記念品	12	12	14	14	14	14	14	14	
	賞金	276	276	276	356	356	356	356	356	
	旅費	28	35	44	44	44	44	44	44	
	印刷製本費	67	55	71	71	71	71	71	71	
	警備業務委託料	60	60	309	109	109	109	109	109	
	会場設営等委託料	168	454	1,037	400	400	400	400	400	
	展示用備品借上料	13	16	69	16	16	16	16	16	
	その他事務経費	47	54	55	55	55	55	55	55	
	小計(B)	863	1,160	2,073	1,263	1,263	1,263	1,263	1,263	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	
		人件費	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数								
		人件費								
	小計(C)	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	合計(D=(B+C))	2,568	2,893	3,806	2,996	2,996	2,996	2,996	2,996	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	2,568	2,893	3,806	2,996	2,996	2,996	2,996	2,996	
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	326	913	△810	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
市民の造形芸術作品の発表の場、鑑賞の場がなくなり、芸術活動の環境・意欲に大きく影響する。	(概ね)順調	高齢化・人口減少もあり、出品者数・来場者数が減少傾向にある。	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	○	直接実施(契約・交付事務を除く)
昨年度記載した改善策	パネル設営費等、展示に係る費用を抑える。展示方法を工夫し、魅力的な会場作りをすることにより出品・来場者数の増加を促す。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 ふれあいプラザからハイトピア伊賀に展示会場を移したことでかかる経費を最小限に抑えつつ、新会場でのレイアウトを工夫し展示スペースの確保に努めた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	出品者が高齢化してきているため、若年層の出品を奨励し造形芸術活動に取り組む人の裾野を広げる。会場設営や展示備品を改善し、より高品質な展示を考える。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤山 善之	現状維持	文化振興事業として市民に定着しており、市民文化の向上に寄与するため。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0090	文化祭開催経費					01	02	01	07	128	52
	事業名	0090	文化祭開催経費	所属	040100	企画財政部企画課 松尾 奈々美	連絡先(記入者) 22 - 9621					
基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む										

概要	事業概要	伊賀市民文化祭実行委員会に事業を委託。市内の文化団体代表者らで実行委員会を組織し、事業計画・運営を行う。舞台公演及び作品展示を行う。市広報や行政チャンネル等で市内全域から参加者を募集している。						事業期間					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等						2013伊賀市民文化祭実行委員会					
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		5	4	
	対象(誰を、何を)	芸術文化活動に取り組む人(団体)及びそれらに興味がある人						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	活動の場を発表する場が提供され、参加者(団体)相互の文化意識を高め、それぞれの活動内容がより充実するほか、それらを見たり触れることにより新たな後進の発掘や育成に役立つ											
H24実施内容	2012伊賀市民文化祭実行委員会に事業を委託。市内の文化団体代表者らで実行委員会を組織し、事業計画・運営を行う。舞台公演と作品展示を行うが、24年度舞台部門は5日に分けて市文化会館で、展示部門は初めてハイピア伊賀で前期と後期に分けて開催した。												

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明	
	活動指標	開催延日数	日	H23	H24	H25		H26
				目標 9.0	目標 9.0			
成果指標	入場者及び出演者数	人	実績 9.0	実績 12.0				
			目標 5,200.0	目標 5,500.0	4,000.0	4,500.0		
			実績 5,531.0	実績 3,382.0				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	委託料	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200		
	使用料及び賃借料	300	300	300	300	300	300	300		
	その他事務経費									
	小計(B)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
	人件費	正規職員	人数 0.2人	人数 0.2人	人数 0.2人	人	人	人	人	
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数 人	人数 人	人数 人	人	人	人	人	
人件費		1,136	1,155	1,155	0	0	0	0		
	合計(D=(B+C))	2,636	2,655	2,655	1,500	1,500	1,500	1,500	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	2,636	2,655	2,655	1,500	1,500	1,500	1,500		
	(うち繰越金) ※前年度比	—	19	0	△ 1,155	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
芸術文化活動を後退させると同時に、鑑賞する機会がなくなることにより文化意識が低下する	(概ね)順調		
関与の妥当性	協働の状況など		各団体が実行委員会のメンバーであり、広く参加者を募集し、観覧も一部に限定していない
実施方法(該当するもの全て)	○ 委託・指定管理(非公募・随意)	○ 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在 伊賀市民文化祭実行委員会
昨年度記載した改善策	平成24年度も総合フェスティバル方式を継続し、部門ごとの出演順を工夫する等各団体の持ち時間を増やす。展示部門は前期・後期と開催日程を2回に分け、作品鑑賞しやすい会場作りをする。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
現時点における課題及び課題に対する改善策	今後、更に参加者及び観覧者を増やすため開催日を分散させたり、一般市民に対して体験会を同時開催することにより、気軽に直接芸術文化に触れる機会を設け、参加者増に繋げていく。しかし、参加者については時間制限やスペース制限のため年々不満が出てきており、団体ごとで自主開催の場を持つ傾向にある。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤山 善之	手法改善	来年度以降、自主開催に対して補助金を出さずというやり方も検討する必要がある。

事業名	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 02	項 01	目 07	細目 128	細々目 54
0091	先賢顕彰費											
基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	所属	550100	伊賀支所振興課	連絡先(記入者) 吉福裕香子 45 - 9111						

事業概要	郷土の偉人、文豪横光利一及び橋本策医学博士を顕彰する。(横光利一顕彰「雪解」のつどい開催、横光公園の管理を文豪横光利一野村区顕彰会へ委託、橋本策医学博士顕彰会へ補助)						事業期間						
							平成	16	年度	～	平成	年度	
根拠法令・要綱等							審議会・委員会等	横光利一顕彰「雪解」のつどい実行委員会					
補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 支所関係補助金等交付要綱						分掌事務番号		4	6		
対象(誰を、何を)	・横光利一顕彰「雪解」のつどい実行委員会、市民 ・文豪横光利一野村区顕彰会 ・橋本策医学博士顕彰会						※口 対象 件数		単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
成果(どうする)	郷土の偉人の顕彰を行うことにより地域の振興を図り、またその生き方を学ぶことにより、郷土を愛し郷土に誇りを持つことを次世代につなげる。												
H24 実施 内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年3月17日に柘植公民館において第15回「雪解」のつどいを開催。参加者200名。 文豪横光利一野村区顕彰会に横光公園の維持管理を委託。 橋本策医学博士顕彰会が行っている式典(法要)に対し補助金を支出。 												

	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	横光利一の顕彰事業	回	目標 1.0 実績 1.0	目標 1.0 実績 1.0	1.0	1.0	毎年3月に「雪解」のつどいを開催		
成果指標	横光利一顕彰「雪解」のつどい参加者数	人	目標 95.0 実績 120.0	目標 95.0 実績 200.0	120.0	120.0	毎年3月に「雪解」のつどいを開催		

	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額				
[収入]	使用料・手数料											
	国費 (補助率)											
	県費 (補助率)											
	地方債											
	その他											
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)		
[支出]	謝礼	50	20	50	50	50	50	50	50	H23年度の修繕料については、台風により横光利一文学碑が破損したため修繕を行った。		
	消耗品費	5	5	5	5	5	5	5	5			
	修繕料	100	0	0	0	0	0	0	0			
	会場借上料	0	0	15	15	15	15	15	15			
	横光公園維持管理経費	150	150	150	150	150	150	150	150			
	橋本策医学博士補助金	20	20	20	20	20	20	20	20			
	その他事務経費											
	小計(B)	325	195	240	240	240	240	240	240		特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
	人件費	正規職員	人数 0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		0.1人	雪解のつどい実行委員会の担当は企画課と伊賀支所振興課が1年交代で担当している。(つどいの開催場所も上野と柘植の交互)24年度は伊賀支所振興課担当。25年度は企画課が担当する。
		人件費	568	578	578	578	578	578	578		578	
臨時・嘱託・再雇用職員		人数 人	人	人	人	人	人	人	人			
小計(C)	568	578	578	578	578	578	578	578				
合計(D=(B+C))	893	773	818	818	818	818	818	818	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)			
[収支]	一般財源充当額(D-A)	893	773	818	818	818	818	818	818			
	(うち繰越金)											
	※前年度比	—	△ 120	45	0	0	0	0	0			
	対象者あたり一般財源充当額											

必要性	9. 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
橋本策医学博士と文豪横光利一を顕彰し、郷土の誇りをもつことにより、地域の振興を図り、また伊賀市の魅力を発信することにつながる。	(概ね)順調		
関与の妥当性		協働の状況など	「雪解」のつどい実行委員会の役割は充実しているが、行政(伊賀支所振興課2名・企画課2名)も実行委員会のメンバーとなっており、事務的なところを担っている。
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	横光公園維持管理業務委託(文豪横光利一野村区顕彰会) 橋本策医学博士顕彰会補助金(橋本策医学博士顕彰会)
昨年度記載した改善策	平成25年ぐらいを目処に、まちづくり協議会(実行委員会)で事務局をお願いしたい。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 企画・運営等、事務的な業務以外は「雪解」のつどい実行委員会で行っているが、事務局の役割をお願いする方向へは進んでいない。
現時点における課題及び課題に対する改善策	行政職員も実行委員会のメンバーに含まれているため、事務局の役割を担っている。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤澤 義彰	現状維持	郷土の偉人を顕彰することで地域の振興を図り、そのことが伊賀市の魅力を発信することにつながるため、現状維持としたい。

基本情報	コード	名称	事業類型	II	施設の建設	会計区分 コード	会計 01	款 02	項 01	目 08	細目 132	細々目 51
	事業名	0096		俳句のくにづくり拠点施設建設事業								
	基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	所属	040100	企画財政部企画課 地域政策係	連絡先(記入者) 久保 敦美 22 - 9621					

概要	事業概要	・(仮称)芭蕉翁記念館基本計画に基づき建設に向け事業を進める。						事業期間 平成 19 年度 ~ 平成 30 年度			
	根拠法令・要綱等	(仮称)芭蕉翁記念館事業計画検討委員会設置要綱			審議会・委員会等		(仮称)芭蕉翁記念館事業計画検討委員会				
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	・市民芭蕉翁を顕彰する人、俳句愛好家、伊賀市を訪れる観光客				※口 対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
			%	20	30	40	50				
成果(どうする)	・芭蕉翁の俳諧資料などを収集・保存・展示し、調査研究・情報発信を行うことができる。										
H24 実施 内容	・(仮称)芭蕉翁記念館基本計画に基づき、(仮称)芭蕉翁記念館事業計画を策定するため、(仮称)芭蕉翁記念館事業計画検討委員会を平成25年2月に設置し、(仮称)芭蕉翁記念館基本設計、実施設計に向け、検討を行う。										

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明		
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標			目標	実績				
成果指標	進捗率	%	目標	20.0	目標	30.0	40.0	50.0	基本構想→基本計画→事業計画 →基本設計→実施設計→建設工 事
			実績	20.0	実績	30.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額			
[収入]	使用料・手数料										
	国費 (補助率)										
	県費 (補助率)										
	地方債										
	その他										
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)		
[支出]	事業費	基本計画策定業務委託料など	2,214			40,000				・各年度毎の建設までにかかる経費	
		委員報酬など		132							
		事業計画策定委託料など			1,679						
		基本設計委託料				22,000					
		実施設計委託料					40,000				
		工事費						1,500,000			
		その他事務経費									
	小計(B)	2,214	132	1,679	22,000	80,000	1,500,000	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)		
人件費	正規職員	人数	0.3 人	0.3 人	0.3 人	人	人	人	人		
		人件費	1,705	1,733	1,733	0	0	0	0		
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
		人件費									
	小計(C)	1,705	1,733	1,733	0	0	0	0			
	合計(D=(B+C))	3,919	1,865	3,412	22,000	80,000	1,500,000	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	3,919	1,865	3,412	22,000	80,000	1,500,000	0			
	(うち繰越金)										
	※前年度比	—	△ 2,054	1,547	18,588	58,000	1,420,000	△ 1,500,000			
	対象者あたり一般財源充当額										

必要性	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
・芭蕉翁顕彰事業の衰退		遅れ	建設予定地の選定
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	・建設に係る候補地案となっている、市役所北庁舎跡地の活用や、図書館敷地の活用について、未だ土地利用の指針がないため、(仮称)芭蕉翁記念館の建設候補地の選定に時間を要する		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	○ 委託・指定管理(公募・競争)	○ 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	○ 委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	公益財団法人 芭蕉翁顕彰会 公益財団法人 伊賀市文化都市協会 など
昨年度記載した改善策	・当初予定していた国史跡上野城跡と桃青中学校跡地を結ぶ連絡橋の設置について、文化庁等との協議の結果、連絡橋の設置は「容認できない」との結果を受け、桃青中学校跡地を含む代替地の選定及び事業計画策定について、(仮称)芭蕉翁記念館事業計画検討委員会を設置し、検討を行う。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 ・(仮称)芭蕉翁記念館事業計画検討委員会にて建設候補地の選定及び事業計画の策定について、平成25年9月末の答申を目指し、月1回程度の会議の開催を行う。
現時点における課題及び課題に対する改善策	・建設候補地として、上野図書館、市役所北庁舎跡地等の活用方法や、方向性を早期に示していただくことにより、(仮称)芭蕉翁記念館の建設候補地の選定及び事業計画の策定がスムーズに進行できる。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤山 善之	現状維持	・必要な時間をかけるも、拙速に陥ることなくスムーズな業務遂行に努め市民が誇れる記念館づくりを目指すため平成25年度事業計画策定、平成26年度基本設計、平成27年度実施設計、平成28年～29年度工事、平成30年度、現在の記念館からの移行期間を経て、10月12日の芭蕉祭にオープンしたい。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0097	芭蕉祭執行等経費					01	02	01	08	133	51
	事業名	0097	芭蕉祭執行等経費	所属	040100	企画財政部企画課 松尾 奈々美	連絡先(記入者) 22 - 9621					
基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む										

概要	事業概要	(財)芭蕉翁顕彰会に事業を委託し、市との共催で10月12日に事業を実施。・記念講演会「歌枕俳枕講座」(10月11日)・月見の献立(10月11日)・墓前法要(愛染院)・芭蕉祭式典(上野公園俳聖殿前広場)・芭蕉祭協賛行事(市内各地)・芭蕉祭行事(全国俳句大会、芭蕉祭ポスターパネル、原画展ほか)・義仲寺展墓・芭蕉さんを偲ぶ会(市内各小学校)等	事業期間					
	根拠法令・要綱等	俳文学関係著作に係る文部科学大臣賞授賞に関する要綱(文部科学大臣賞の授賞のみ関係)	審議会・委員会等	文部科学大臣賞選考委員会				
	補助金支出	無 ※支出“有”の場合要綱を記入	分掌事務番号				13	4
	対象(誰を、何を)	芭蕉翁を顕彰する人、園児、小学生、中学生、高校生	※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	世代に関わらず松尾芭蕉を顕彰することが出来る。俳句の普及とともに伊賀市をPR出来る。						
H24実施内容	(財)芭蕉翁顕彰会に事業を委託し、市との共催で10月12日に事業を実施。・記念講演会「歌枕俳枕講座」(10月11日)・月見の献立(10月11日)・墓前法要(愛染院)・芭蕉祭式典(上野公園俳聖殿前広場)・芭蕉祭協賛行事(市内各地)・芭蕉祭行事(全国俳句大会、芭蕉祭ポスターパネル、原画展ほか)・義仲寺展墓・芭蕉さんを偲ぶ会(市内各小学校)							

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H23	H24	H25	H26	
	活動指標	芭蕉祭ポスター掲示部数	部	目標 370.0 実績 370.0	目標 370.0 実績 370.0	370.0	370.0
成果指標	芭蕉翁献詠俳句投句数	句	目標 45,000.0 実績 40,111.0	目標 45,000.0 実績 40,246.0	41,000.0	45,000.0	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費 (補助率)								
	県費 (補助率)								
	地方債								
	その他								
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	報酬	320	320	320	320	320	320	320	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	報償費	20	20	20	20	20	20	20	
	旅費	179	218	170	170	170	170	170	
	需用費	38	37	40	40	40	40	40	
	委託料	8,837	8,528	8,890	8,890	8,890	8,890	8,890	
	備品購入費	36	75	150	150	150	150	150	
	その他事務経費								
	小計(B)	9,430	9,198	9,590	9,590	9,590	9,590	9,590	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
人件費	正規職員	人数	0.6人	0.6人	0.6人	人	人	人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
		人件費	3,409	3,466	3,466	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	
	小計(C)	3,409	3,466	3,466	0	0	0	0	
	合計(D=(B+C))	12,839	12,664	13,056	9,590	9,590	9,590	9,590	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	12,839	12,664	13,056	9,590	9,590	9,590	9,590	
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	△ 175	392	△ 3,466	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
長年続けてきた芭蕉顕彰に寄与する市最大の行事であり、芭蕉生誕地としての廃止は極めて難しい	(概ね)順調		委託事業であるが、市が担っている業務もある
関与の妥当性		協働の状況など	様々な団体が、芭蕉祭に合わせ、協賛行事として公園内や街中で芭蕉にちなんだイベントを実施している
実施方法(該当するもの全て)	○ 委託・指定管理(公募・競争)	○ 委託・指定管理(非公募・随意)	負担金・補助金・交付金 直接実施(契約・交付事務を除く) ※委託内容及び委託先の存在 (公財)芭蕉翁顕彰会
昨年度記載した改善策	あらゆる年代の方々に俳句に対して関心を持ってもらい投句数を増やすための方法を考える。平成27年度までに、芭蕉祭委託料の中で支出が多額となっている俳句選者の人数及び謝礼額について協議を行い、少しでも委託料を減らせないか検討する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 委託先である芭蕉翁顕彰会と機会を捉え協議を続ける。式典参加者等へのアンケートを実施することで、改善すべき課題を把握する。
現時点における課題及び課題に対する改善策	学校教育の中で芭蕉に触れる時間がないなか、俳句入賞以外の子どもも芭蕉祭に参加しやすくするため、芭蕉祭を休日開催にし、イベント的に楽しめる俳句ゲーム等を通じ、芭蕉の偉大さや俳句の面白さを子供達に継承していく必要がある		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤山 善之	現状維持	芭蕉生誕の地として行う芭蕉祭は俳句普及や芭蕉顕彰の意味でも開催は必要であり、沢山の関係者を迎えるためには当日の市職員動員についても、必要不可欠である。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 02	項 01	目 08	細目 133	細々目 52
	事業名	0098										
	基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	所属	040100	企画財政部企画課 地域政策係	連絡先(記入者) 西村澄子 22 - 9621					

概要	事業概要	芭蕉翁顕彰事業として、地域が主となり式典を行っている。						事業期間					
								平成	19	年度	～	平成	年度
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等					
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号					
								6	13				
対象(誰を、何を)	芭蕉翁を顕彰する人						※ 対象 件数						
成果(どうする)	芭蕉翁を慕うものが集まり、芭蕉翁を顕彰することができる。												
H24 実施 内容	(公財)芭蕉翁顕彰会に式典を委託 【式典内容】合唱「芭蕉讃歌」 顕彰の言葉 法要と墓参、献花 講演会												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	しぐれ忌開催にかかる打合せ会	回	目標 3.0	実績 2.0	目標 3.0	実績 3.0	3.0	3.0
成果指標	参加者数	人数	目標 135.0	実績 150.0	目標 150.0	実績 150.0	150.0	150.0	より多くの人が参加することにより、芭蕉翁を顕彰することができる

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	委託料	300	300	300	300	300	300	300	300	
	その他事務経費									
	小計(B)	300	300	300	300	300	300	300	300	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費									
	正規職員	人数	0.2人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
	人件費	1,136	578	578	578	578	578	578	578	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費									
	小計(C)	1,136	578	578	578	578	578	578	578	
	合計(D=(B+C))	1,436	878	878	878	878	878	878	878	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	1,436	878	878	878	878	878	878	878	
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	△ 559	0	0	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	地域が主となり行う顕彰事業がなくなり、芭蕉翁を顕彰する機会が減る、またはなくなる人がある。	(概ね) 順調	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法 (該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	(公財)芭蕉翁顕彰会
昨年度 記載した 改善策	今後、市と関係機関との間で事業内容等について検討する。	左記 改善策 への 取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 事業内容を具体的に検討する場を持たなかった。
現時点における課題 及び 課題に対する改善策	今後、市と関係機関との間で事業内容等について検討する。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤山 善之	現状維持	芭蕉翁生誕の地としての芭蕉翁顕彰の重要な事業のひとつであり、継続した事業展開を行う必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0100	俳句啓発推進経費					01	02	01	08	135	51
	事業名	基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	所属	040100	企画財政部企画課 地域政策係			連絡先(記入者) 西村澄子 22 - 9621		

概要	事業概要	松尾芭蕉生誕地として市民の芭蕉翁や俳句に関する関心を高めるため、講演会や俳句会を実施						事業期間					
							平成	年度 ~ 平成	年度				
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等					
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号					
	対象(誰を、何を)	芭蕉翁、俳句に興味を持っている市民						※対象件数					
	成果(どうする)	市民が芭蕉翁について関心を深め、また市民の間に俳句をより一層浸透させることにつながる。											
H24実施内容	歌枕俳枕講座(講演会)を開催 土芳を偲ぶ俳句会開催 芭蕉俳句懸垂幕の掲示(季節ごとに掲示替え) 全国俳句募集事業伊賀市賞												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標	講演会、俳句会開催	回	目標	2.0	目標	2.0	2.0	3.0	
				実績	2.0	実績	2.0			
成果指標	講演会参加者数	人	目標	80.0	目標	100.0	100.0	100.0		
			実績	150.0	実績	100.0				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
	[支出]	事業推進報償費	128	118	130	130	130	130	130	
		賞品及び記念品	20	20	20	20	20	20	20	
		消耗品費	233	202	245	245	245	245	245	
		印刷製本費	105	93	116	116	116	116	116	
会場借上料等		152	8	171	171	171	171	171		
その他事務経費		101	38	90	90	90	90	90		
小計(B)		739	479	772	772	772	772	772	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費	正規職員	人数	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人		
		人件費	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
		人件費								
小計(C)	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733			
合計(D=(B+C))	2,444	2,212	2,505	2,505	2,505	2,505	2,505	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	2,444	2,212	2,505	2,505	2,505	2,505	2,505		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	△ 232	293	0	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額										

事後評価	必要性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業												
	有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄				効率性	
		世代を問わず芭蕉翁や俳句に親しむ機会が減る。			(概ね)順調								※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)	
	関与の妥当性							協働の状況など						
	実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)			負担金・補助金・交付金				※委託内容及び委託先の存在					
		委託・指定管理(非公募・随意)			○ 直接実施(契約・交付事務を除く)									
	昨年度記載した改善策	財団法人芭蕉翁顕彰会と協議をして、28年度までには新しい教室等をができるようにする。						左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。				
								新しい教室等の開催について(公財)芭蕉翁顕彰会と協議ができていない。						
	現時点における課題及び課題に対する改善策	高校生以上の人たちにも芭蕉翁や俳句について関心を持ち、俳句に親しんでもらえるような教室等開催する。												
	今後の方向性	担当課長氏名		方向性		理由								
	藤山 善之		現状維持		市民が松尾芭蕉や俳句に関する関心高め、親しむ機会が提供できる事業であることから、事務事業を継続する。									

事業名	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
0101	0101	俳句啓発推進経費					01	02	01	08	135	51
基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	所属	550100	伊賀支所振興課	連絡先(記入者) 吉福裕香子 45 - 9111						

事業概要	俳聖松尾芭蕉を顕彰し、俳句に親しむ機会を提供する。(しぐれ忌俳句大会の開催、管内8箇所に投句箱の設置、芭蕉生誕宅址の維持管理委託、芭蕉関連句碑等設置地の土地借上料の支出)						事業期間					
							平成	16	年度	～	平成	年度
根拠法令・要綱等							審議会・委員会等	しぐれ忌俳句大会実行委員会				
補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入					分掌事務番号		4			
対象(誰を、何を)	俳句に親しむ市民、観光客						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
							投句数	358	448	450	450	
成果(どうする)	俳句に親しむ機会を提供することにより、市民等が郷土の歴史や文化の魅力に触れ、郷土に対する理解と愛着を深める。また、俳句を通して芭蕉を顕彰している地として伊賀市をPRできる。											
H24実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年11月10日にふるさと会館いがにおいて、第48回しぐれ忌俳句大会を開催。講師黒田杏子氏。参加者111名。 山出区老人クラブ蕉郷会に芭蕉公園の維持管理を委託。年間4回の草刈、8回のトイレ清掃業務。(H25年度は市有財産管理経費へ) 管内8箇所(芭蕉公園、柘植駅、余野公園、白藤の滝等)に投句箱を設置し、年4回俳句を回収し選句を行う。延べ37名が入選。 芭蕉生誕宅址の土地所有者に宅址碑周辺の維持管理を委託。年間8回の草刈業務。 芭蕉関連看板及び句碑建立の土地所有者に借上料の支出。 											

	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H23	H24	H25	H26	
活動指標	しぐれ忌俳句大会事業	回	目標 1.0 実績 1.0	目標 1.0 実績 1.0	1.0	1.0	毎年11月12日のしぐれ忌の前後に「しぐれ忌俳句大会」を開催する。
成果指標	しぐれ忌俳句大会参加者数	人	目標 100.0 実績 123.0	目標 100.0 実績 111.0	100.0	100.0	毎年11月12日のしぐれ忌の前後に「しぐれ忌俳句大会」を開催する。

	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費(補助率)								
	県費(補助率)								
	地方債								
	その他								
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	謝礼	80	80	80	80	80	80	80	H25年度より芭蕉公園の光熱水費及び維持管理業務及び芭蕉公園便所敷地借上料が市有財産管理経費へ組み替えになったため、当事業の予算は減少になっている。
	賞品及び記念品	16	16	16	16	16	16	16	
	俳句大会運営委託料	340	340	340	340	340	340	340	
	施設維持管理委託料	399	399	32	32	32	32	32	
	土地建物借上料	16	16	11	11	11	11	11	
	その他事務経費	54	140	40	40	40	40	40	
	小計(B)	905	991	519	519	519	519	519	
人件費	正規職員	人数 0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	
	人件費	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	
	人件費								
	小計(C)	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	
	合計(D=(B+C))	2,041	2,146	1,674	1,674	1,674	1,674	1,674	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	2,041	2,146	1,674	1,674	1,674	1,674	1,674	
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	105	△472	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	9. 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	しぐれ忌俳句大会は昭和39年からおこなわれており、25年度は49回目となり伝統がある俳句大会である。	(概ね)順調	
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	俳句啓発については、合併時から企画課(公財芭蕉翁顕彰会)と伊賀支所振興課でそれぞれ行っているが、今後の方向性について検討が必要と思われる。		
関与の妥当性	協働の状況など		
	しぐれ忌俳句大会実行委員会の役割は充実しているが、行政(伊賀支所振興課2名・企画課1名)も実行委員会のメンバーとなっており、事務的なことを担っている。		
実施方法(該当するもの全て)	○ 委託・指定管理(公募・競争)	○ 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	○ 委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	俳句大会運営委託料(しぐれ忌俳句大会実行委員会) 芭蕉生誕宅址清掃業務委託料(土地所有者)
昨年度記載した改善策	(財)芭蕉翁顕彰会で事業の方向性について検討が必要と思われる。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 検討していない。
現時点における課題及び課題に対する改善策	市町村合併後、公益財団法人芭蕉翁顕彰会で芭蕉祭(10/12)としぐれ忌法要(11/12)を行っており、もともと伊賀町芭蕉翁顕彰会で行っていたしぐれ忌法要以外の俳句啓発事業については、伊賀支所振興課が引き継いで行っている。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤澤 義彰	現状維持	地元の芭蕉翁の志を受け継いでいる活動に、今後も行政として支援していくことが大切であるが、今後の方向性については検討が必要である。